

平成30年第4回定例会一般質問順序表

12月13日～14日

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	1	木村 恵	1 福祉灯油について	1 過去の実施の経緯について	1 日本共産党北海道委員会は北海道知事に対し、地域づくり総合交付金の予算増額をし、福祉灯油を実施する市町村に対し、さらなる財政支援を行うことなど6点を「燃油価格の高騰対策を求める緊急要望」として11月1日に提出しました。10月後半から灯油価格はリッターあたり100円を超えて推移しており、本格的な冬を迎える北海道では所得の少ない世帯にとっては大きな負担となっている。過去赤平市では福祉灯油の実施があったと思うが、その経緯を伺う。	
				2 条例・要綱の必要性について	1 日高町では1リットルあたり100円を超えたときに、50リットルの福祉灯油を給付券で支給する要綱がある。美唄市では社会福祉協議会と協働により実施している。2014年度市町村福祉灯油の実施状況では176自治体中162自治体の実施している。条例や要綱のある自治体、緊急的に行う自治体など様々だと思うが、この条例や要綱の必要性についての考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	1	木村 恵	2 防災について	1 防災行政無線について	1 近年大雨や台風、地震など自然災害が北海道でも猛威を振るっている。ある大学准教授は「日本は災害の時代に突入したと言える。自治体の災害対策の充実は火急の課題だが、言うは易し行うは難しの状況にある」と警鐘を鳴らしている。議会報告と意見交換会や住民懇談会などにおいても、市民の方々から防災・災害対策に対しての質問や意見・要望が毎回出ている状況だと思う。今年度調査が行われている防災行政無線についてどのような状況なのか伺う。	
				2 避難所等の変更について	1 広報あかびら12月号に住民懇談会での質問や意見が掲載されていた。その中に「避難所がどこなのかわからない。周知してほしい」という意見があり、「市では昨年、ハザードマップを全戸配布していますので、今一度ご確認をお願いします」という回答が載っていた。例えば福祉避難所の愛真ホームの住所や、指定避難所の赤平中学校の住所、指定緊急避難場所の旧平岸小学校グラウンドなどの変更の周知がされていない中で、なぜハザードマップの確認を促すような答弁になったのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	1	木村 恵	3 学校給食について	1 学校給食無償化について	1 北海道では小学校・中学校ともに無償化を実施している自治体は15あり、小学校のみが1、一部無償化あるいは一部補助している自治体が43ある。全体で33.0%の自治体に取り組んでいる。これは文部科学省の2017年の調査結果ですが、全国的に無償化をしている自治体の93.4%は町村で、特に人口1万人未満の自治体が73.7%を占めている。また、小学校児童数400人未満が65.8%、中学校は生徒数200人未満が68.4%とある。市と町村の違いはあるが、赤平市の実態も限りなく近い状態にあると思う。学校給食の無償化についての考えを伺う。	
			4 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略について	1 児童福祉施設整備計画について	1 認定こども園について11月20日に行政常任委員会において進捗状況が報告された。赤間小学校改築案と、旧中央中跡新築案の2つに絞られていたが、私はどちらの案も今の赤平市の現状ではベストな選択肢になりえないと指摘した。その後の子ども子育て会議で最終的に12月中に決定するとなっていたが、計画はどのようになったのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	1	木村 恵			2 子育て支援センターについて先の委員会では、こども園ができた場合は新築なら併設、改築なら現在の文京保育所という事になっていた。いずれにしても先の話になると思う。そこで、来年度はどうするのか。現在はコミセン別館に一年間限定で移転となっている。当初の不安は保護者の方々の理解を得られて解消されていると考えるが、予定通り文京保育所に戻すのか、あるいは現在の場所で継続するのか伺う。	
				2 おためし暮らしについて	1 私は移住・定住につながり、空きも少ない状況が続いていたおためし暮らし住宅の拡充をすべきではないかと提案してきましたが、その都度検討していると答弁をされてきた。一方で最近は観光目的の利用が多く移住・定住につながらないことを理由にやめる自治体も出てきているという報道があった。9月議会の平成29年度決算が終わってからやっと、ホームページで10月18日付おためし暮らし住宅募集を見た。期間は11月1日から12月10日までとなっていたが、結果はどうだったのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	1	木村 恵	5 水道事業について	1 民営化，広域化について	1 臨時国会において12月4日，参議院厚生労働委員会で水道法改正案が可決された。民営化，広域化を進める内容となっており，海外の民営化の失敗・再公営化から学ぶこともなく，災害時の対応などにも不安が残る。広域化についてもダム開発による負担の押し付けや，広域水道による簡易水道など自己水源の廃止につながる恐れもある。災害に強い自己水源を生かした地域分散型の水道事業があるべき姿ではないかと考える。民営化，広域化についての考えを伺う。	
				2 他の水源利用について	1 近年ダム開発は事業費がどんどん膨れ上がり，無駄な公共事業の代名詞的な存在になりつつある。一方ですでにあるダムを有効活用することができるなら知恵を出し合って活用することも必要だと思う。そこで，エルムダムは畑地灌漑用水のための利用とされているが，用途変更をして赤平市の水道事業に利用できないのか考えを伺う。	
2	2	五十嵐美知	1 子育て支援について	1 児童福祉施設整備計画について	1 認定子ども園の設置時期，場所について，年内を目途に整備計画に明記するとの答弁であったが，11月20日の行政常任委員会では，5案の中からプロジェクトチームの意見を踏まえ2案に絞られ，11月28日開催された子ども子育て会議に諮られ，どのような結果であったのか伺う。併せて児童館・児童センター，屋内遊戯施設の考え方も示されるのか伺う。	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
2	2	五十嵐美知		2 認定子ども園に関するアンケート調査の自由記載の意見について	1 記載の意見の中から、幼稚園の預かり保育について、昨年も同僚議員から質問もあったが、改めて月額から日額にしてほしいとの声に対してどのように考えるか伺う。	
				3 保育所の現状と今後について	1 年末年始の休日は、曜日の関係上、本市保育所は8連休となり、働きながら子育てしている方々の環境は、より厳しいものになっていくが、民間企業や不規則勤務などで働く保護者のためにも検討していくべきと思うが考えを伺う。 2 新年度において、保育所職員体制と待機児童を発生させないための取り組みは磐石か伺う。	
			2 災害時における対応について	1 災害時用備蓄食品について	1 防災備蓄食品は、賞味期限を5年としているものが多いが、どのような災害を想定して何人に何食とどのようなものを用意しているか伺う。 2 賞味期限が近づいた備蓄食品の有効活用についての考えを伺う。	
			3 学校教育について	1 給食費の現状と今後の考えについて	1 賄材料費の食品などは、値上げ傾向にある中で、平成29年度決算において、保護者が納める給食費と食材を購入するための賄材料費とでは、2,744,103円の赤字となっているが、公会計で取り組みが始まったことから、市費で補っていくべき課題と思うが、今後の考えについて伺う。	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
3	8	御家瀬 遵	1 第6次赤平市総合計画について		<p>1 現在までのところ、第6次赤平市総合計画に関わる原案作成に着手しているか。計画策定に関わる一連のタイムスケジュールがあれば何う。</p> <p>2 第5次赤平市総合計画執行の過程で、生じた新たな行政需要のうち、第6次赤平市総合計画に検討するとして、持ち越された案件がどのようなものか時系列に何う。</p> <p>3 平成31年度の予算編成は、第5次赤平市総合計画の総括・検証の上に、第6次赤平市総合計画が策定され、その初年度事業として位置づけられるものです。総合計画策定のプロセスを経ていないように思われるが、どのように考えているのか何う。</p>	
			2 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略事業について		<p>1 現在、雇用難を理由として、都市部転出について検討を余儀なくしている企業の動向について、掌握している範囲を何う。</p> <p>2 雇用難を理由として、転出の検討をしなくても済むための支援策として、国・道のメニューを活用して、地元企業に代わり、福利厚生施設の充実を図る支援措置について、検討することが喫緊の課題と思うが考えを何う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	7	伊藤 新一	1 高齢者対策について	1 除雪費の助成について	1 高齢化がますます進んでいく中、高齢者の除雪費助成について伺う。	
				2 運転免許証の返納について	1 運転免許証の返納者に対しての助成について伺う。	
			2 交通手段の確保について	1 JR根室線の存続問題について	1 国が沿線自治体への地方財政措置を見送る方針を固めたことで、自治体のみで財政負担を求めてくると予想されるが、今後の見通しについて伺う。	
				2 移動困難者の交通手段について	1 交通の不便な地域の交通手段の確保についての協議状況を伺う。	
				3 公共交通空白時間帯の交通手段について	1 住民懇談会で市長は、行政、病院、タクシー会社と検討する場を設けたいとの答弁だったが、協議の状況について伺う。	
			3 人口減少対策について	1 転出者調査について	1 転出者に対する対応と検証について伺う。	
5	6	向井 義擴	1 財政運営について	1 実質単年度収支、経常収支比率の改善について	1 平成29年度、30年度と悪化しているが、今後の取り組みについて、どう進めていくのか伺う。	
			2 幼児教育の無償化について	1 無償化による影響について	1 幼児教育無償化に伴い、軽減される現在の利用者負担額について伺う。	
				2 無償化より優先する課題について	1 幼児教育無償化も検討が必要だが、現状では、保育所や幼稚園における職員の待遇改善や質の高い幼児教育のための方策も必要と考えるがいかがか。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
6	5	若山 武信	1 当市の防災体制の確立について	1 災害対策本部のあり方について	1 本年9月6日発生の胆振東部地震において、ブラックアウト（全域停電）が発生し、当市においても、全域が停電となり、午後1時30分に通電となったが、一部の地域は翌日通電となった。当市では、災害対策本部が設置され、諸対策が講じられたが、一部地域が停電のままの時点で解散となった。対策本部の解散ではなく、縮小ということも考えられたのではないか。この判断の妥当性について伺う。	
				2 ブラックアウト（全域停電）における市立病院の対応について	1 ブラックアウトの時、市立病院の透析患者や、入院・外来病棟での患者等について問題が生じなかったか。また、大規模災害時における病院間連携について伺う。	
				3 災害時連絡体制の確立について	1 全市停電により一般電話は不通、テレビのニュースも視聴できず、市民全体が不安に陥り、災害情報等を待っていたが、行政と町内会や地域との連絡が思うようにならず、連絡体制の確立について伺う。	
				4 守秘義務と生命の大切さについて	1 災害時、町内において障がい者や車いす利用者、寝たきりの人や認知症の人、引きこもりの人もおり、町内会に協力してもらうには、住民の家族関係を知っておくことが大切。「守秘義務」と「生命の大切さ」との区分け、重要性の判断について伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
6	5	若山 武信	2 教育問題について	1 学力検定試験対象の拡大と無料化について	1 漢字検定, 算数・数学検定, 英語検定など学力向上のため, また, 本人の得意な分野を伸ばし, 自信につなげるための検定は, 1学年だけでなく, 小学校は4年生以上, 中学校は全学年に拡大し, それに関わる費用を全額無料にすべきとして考え方を伺う。	
				2 公設塾の完全無料化について	1 公設塾という機会均等・公平・平等という見地から, 希望者全員が参加できるようにするために参考書・テキスト代を無料化とし, 女子生徒等の夜の防犯への不安を考慮したとき, 市のマイクロバス対応の必要性について伺う。	
				3 全国学力・学習状況調査の結果報告について	1 調査結果の今後の対応・対策について伺う。	
			3 菊島市政のあり方について	1 1期目における市政執行の評価について	1 市長の市政への取り組みと, 将来への財政的不安について伺う。	
7	4	竹村 恵一	1 高齢化対策について	1 高齢者が安心して暮らせる地域づくりについて	1 市長は所信表明の中の総合計画の部分で, 交通安全対策に言及している。高齢運転者が多くいる中, 高齢者の免許返納も話題に取り上げられているが, 免許を返納する高齢者にとって移動の足となる車は重要である。交通安全, 返納率向上のためにも地域交通の確保について考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	4	竹村 恵一		2 第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について	1 当市の上位計画である総合計画、関連計画である総合戦略などと整合性を持ち、本年からスタートした。その中の基本目標4「高齢者を支えるまちづくりをすすめます」について2点伺う。 (1) 災害・見守り体制の整備の各項目について (2) 生活環境の整備の各項目について	
				3 健康増進計画（改訂版）について	1 所信表明の中の総合計画の部分で、保険事業についての言及がある。「健康を意識した、地域ぐるみで、健康寿命を延ばしていく」と書かれている。国の政策や道の計画と整合性が図られた計画であるが、計画に対し3点伺う。 (1) 健康増進計画（改訂版）は30年度までであるが、今後の計画について (2) 平均寿命と健康寿命について (3) 実態把握に基づいた目標達成への取り組みについて	
			2 人口減少に伴う問題について	1 協働のまちづくりについて	1 執行方針の中で「地域コミュニティ活動」について言及し、その中で「町内会活動は住民自治を担う重要な役割」と表現され、「世帯数減」「高齢化」の影響で維持困難な状況や活動の縮小で連帯感が失われないように支援し、町内会の連携強化を図ると言われている。具体的な支援策はどのように考えているのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	4	竹村 恵一		2 安全で快適に生活できる住宅・住環境づくりについて	1 国、道の住生活基本計画を踏まえ、総合計画やその他の福祉・まちづくりなどの上位・関連計画と整合性を図りながら、作成されている「住生活基本計画」の中でも、住宅施策の展開方向が示されているが、老朽家屋や空き家への対応はどのように進めていくのか伺う。	
				3 障がい者にやさしいまちづくりについて	1 手話条例の活用について	1 執行方針の中で市長は条例施行に伴い、奉仕員の方が安心して活動できるように、また通訳者を目指せる助成など言及しているが、ろう者の方へ対する対応や行政としての動きには触れていない。その後の行政の動きについて伺う。
			4 教育行政について	1 学校・家庭・地域で育てる教育のあり方について	1 いじめに対する現状と把握、対応について伺う。 2 不登校児童・生徒への支援について伺う。	
				2 学力・生活習慣向上について	1 全国学力・学習状況調査の結果を基にした市教委の今後の判断を伺う。 2 学力向上策とされている家庭との協力、地域との協力に対し、市教委の考えと行政との協力について伺う。	